

check PayPay キャンペーン in 千代田 ～ちよだのお店でお得に買い物～



新しい生活様式の1つとしてキャッシュレスを進めるためのキャンペーンがはじまります。

9月1日(水)～9月30日(木)、区内のお店でお会計をするとき、PayPayでお支払いをすると、払った金額の20%分のポイントが戻ってきます。

電子マネーでお金を払うことにより、コロナの感染防止にもつながり、ポイントが返ってくるのが

お得なので区内のお店でお買い物をする人が増えてお店も活性化します。この返ってくる20%分のポイント(金額)には区の予算が使われます。返ってくるポイント(金額)の上限は一回につき1,000円分まで、一人につき期間中の合計は10,000円分までです。



この事業のために使われる予算は、2億6,500万円です。登録の仕方がわからない方には、区役所2階リフレッシュコーナーで相談することもできます。ポイントが返ってくる対象のお店は、8月15日の時点でPayPay登録をしている中小企業です。大手のチェーン店やコンビニは対象外なのでポイントは戻りません。

解説

引き続きの緊急事態により冷え込む地域商店街への支援として、9月1日よりキャッシュレス決済を活用した地域経済活性化事業が始まります。地域経済の活性化の他、新しい生活様式としてキャッシュレス決済を推進する目的があります。対象となる店舗は8月15日までにPayPay登録をしている区内中小企業ですが、ポイント還元は区民でなくても還元されます。



ご意見・ご相談お気軽にお寄せください

<p>*携帯メールはこちら yapparihayanehayaoki@softbank.ne.jp</p>	<p>*お手紙はこちら 〒102-8688 東京都千代田区九段南1-2-1 千代田区役所 7F</p>	<p>*お電話はこちら Tel: 080-3150-2090</p>
<p>*PCメールはこちら ryokolwas@gmail.com</p>		<p>*ファックスはこちら Fax: 03-3263-9255</p>



岩佐りょう子プロフィール 立憲政策フォーラム

千代田区議会 副議長

所属委員会

議会運営委員会、保健福祉委員会、公共施設調査整備特別委員会
議会のあり方に関する調査特別委員会
LGBT自治体議員連盟、手話推進議員連盟所属

岩佐りょう子は学生の職場体験やインターンを受け入れています。日数などは応相談です。ご興味のある方はご連絡ください。

小学生から読める! 忙しい朝でも読める!

千代田区議会議員 岩佐りょう子の



超

かんたん区政報告

この区政レポートは、小学校高学年から読めるように、わかりやすく書いてあります。

- *お子さん連れてワクチンが受けられるようになります
- *自然!外神田!丁目のまちづくり
- *意外と知らない都議会と区議会のちがひ
- *千代田区役所でお弁当販売はじまります
- *PayPay キャンペーン in 千代田～ちよだのお店でお得に買い物～

目次



お子さんを連れてワクチンを受けられるようになります

ワクチンが足りない!というニュースがたくさん流れておりますが、千代田区では9月に予約する方3000人分のワクチンも確保しており、全年代の方がワクチンを受ける予約をすることができます。

ワクチンは人口などにより配分が決まっていますが、千代田区は早くから交渉してワクチンを確保し、予約の仕方も単なる先着順ではなく東京大学の先生に相談して細かく期間を区切って施設にいる方や年齢別など工夫したことで混乱なくスムーズにワクチンを打つことができています。

でも、予約はできても小さなお子さんが出てなかなかワクチンを打ちにいけない人も出てきました。そこで、区は、お父さんお母さんがワクチンを打っている間、お子さんをお預かりするサービスをすることにしました。



8月29日・9月4日・9月5日・9月11日・9月12日・9月18日・9月19日・9月23日・9月25日
土曜日 13時～17時 日曜日 10時～17時

場所は千代田区役所1F 区民ホールです。ご利用される方はワクチン接種とは別に予約が必要となりますので、千代田区ホームページで電話番号をご確認ください。



全国的にワクチンが足りずに問題になっています。千代田区では、東京大学の経済学者小島武仁氏と連携しマーケットデザインの手法を活用した予約方法を取り入れたことや、職域接種枠を活用し早期に歯科大学との連携をしたことが順調なワクチン接種へとつながっています。高齢者のワクチン接種は8割を超え、12歳以上のすべての年代の方がワクチン予約をすることができますが、お子さん連れの方の託児サービスは課題となっていました。今回託児サービスを設置することにより、さらなるスムーズなワクチン接種を進める予定です。

check 意外と知らない、都議会と区議会のちがい

7月に都議会議員選挙が行われました。都議会議員と区議会議員はそれぞれどんなことを決めているのか、違いがわかりにくいと思います。東京都は人口1,300万人、予算は7兆5千億円と大きな都市です。地域の特徴を考えながらすべてを決めるには大きすぎるので、東京都全体で決めることと特別区（千代田区）で決めることを分担することになっています。（これを都区制度といいます。）



東京都全体で統一的に決めることになっているのは、主に警察・消防・医療・上下水道の整備などです。区議会は住民にとって一番身近な自治体の議会なので、生活に密着していることの多くを決めます。子育てや介護については、どの人が困っているかを把握しているのは区なので、東京都は区へお金を出して細かいことは千代田区が決めた方が確実に必要な人のところに届きやすいことから区が決めることが多く、窓口も区が担当することがほとんどです。

解説

今回の都議会議員選挙は特定の政党が大勝することのない結果となりました。しかし、選挙前の都議会はコロナ禍を理由に20回以上1兆円を超える予算の専決処分を繰り返して議会の審査を経ることなく多額の予算が執行されていました。非常時とはいえ審議が必要な予算も多く、例えば協力金についても議会審査を経ることでより効果的な支援につながったのではないかと思います。その意味では、今回の選挙で各政党のバランスが取れた議会構成となり、議会での議論を期待したいところです。

check 前区長を裁判にかけないことを東京地検が決めました

昨年、議会は「前区長が議会で嘘をついたので裁判にかけてほしい」と東京地検に訴えました。東京地検は裁判にかける必要はない（不起訴）と決めました。議会は、もう一度裁判にかけられるかどうかを検討してほしいと、検察審査会という機関に訴えるかどうか話し合う予定です。

解説

議会は、昨年100条委員会における偽証の疑いで刑事告発をしていましたが、東京地検は嫌疑なしとして不起訴としました。検察審査会への申立を要望する請願が出ているため議会は引き続き前区長の偽証について審査することとなりました。

check 千代田区役所10階で地域のお店のお弁当が買えます

区役所10階は現在フリースペースとして9時から18時までの間、開放されています。

そこで、9月1日～10月31日の平日11時半～14時まで、区内のいろいろなお店のお弁当が販売されます。区が場所を貸して、区役所で働いている人にも積極的に地域のお店のお弁当を食べてもらうことにより、お店を応援しよう!という企画です。



期間によってお店が変わるので、区役所にいながらいろいろなお店のメニューを楽しむことができます。電子レンジもあり、温めることも可能です。皇居を眺めながらおいしいお弁当を食べてみてはいかがでしょうか。

check 白熱!万世橋地域のまちづくり

万世橋近くの外神田1丁目では再開発の話が持ち上がっており、区議会で熱い議論がされています。再開発は、古くなった建物一軒一軒が個別に建替えをせず、複数の土地をまとめて一体的に建替えて地域にとって魅力あるまちづくりをする方法の1つです。

再開発に反対している人の土地も組み込んでまちづくりをするので、土地の所有者の多くの方が賛成する必要があります。外神田1丁目の再開発は川沿いに親水広場や船着場をつくって観光スポットにするために始まりました。

問題になっているのは、住んでいる人の間で意見が大きく割れているためその地域に広い土地を持っている区と都の持ち分も「賛成側」にカウントして進めようとしていることです。元々、区は多くの人のためになるなら反対の人がいてもまちづくりを進めることができます。いま、区が「多くの人のため」と言って再開発を進めたい理由は、川沿いにある古くなった清掃事務所や葬儀場など区の施設の建て替えには建設する間の代わりの建物が必要になるけれど、再開発の場合は代わりの建物を建てずに建て替えることができ、しかも川沿いに広場ができるからです。しかし、その案では清掃事務所は170mのビルの地下と5階にばらばらに入れられることになるので、それが本当に「多くの人のため」になるのか、という意見が上がっています。